

令和4年度

徳島市津田小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎・基本の定着を図るための個に応じた学習活動の工夫
- コミュニケーション能力を育てる授業の充実

学力向上検討委員会構成

- 学力向上推進員 委員
- (教頭)
 - (教頭)
 - (教務主任)
 - 学年主任
 - (研修主任)
 - (国語主任)
 - (算数主任)

校長

永井 武



◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○漢字の読み書きや整数の四則計算等については、ある程度の定着がみられ、学習に粘り強く取り組む児童が増加している。</p> <p>○自分の興味のある本を選び、読書に取り組む児童が増えている。</p> <p>●学力に二極化傾向がみられる。語彙力にも課題がみられる。上学年に進むと、読み取ったり、聞き取ったりすることを苦手とする児童が増え、学習に対して根気強く取り組むことが困難になる傾向がある。</p>	<p>・当該学年の漢字の読み書きや、整数の四則計算等については、70%以上の児童が基礎・基本の内容の定着を目指す。</p> <p>・語彙力を活用し、読み取ったり、聞き取ったりする活動に根気強く取り組むことができる。</p> <p>・学校や家庭において、タブレット端末を使用し、自分の力に合った課題に取り組むことができる。</p>	<p>・作文等の書く活動を取り入れた授業を展開する。</p> <p>・自主学習で個に応じた学習内容を設定できるように支援する。</p> <p>・朝の活動の時間を用いて、タブレット端末を活用し、漢字の読み書きや、整数の四則計算等の基礎・基本の内容を反復して取り組む。</p> <p>・家庭と連携しながら、タブレット端末を活用し、基礎学力を身に付けていく。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○発表の仕方の例を示すことにより、自分の思いを言葉で伝えたり、相手の立場に立って聴いたりする態度や技術が身に付いてきている。</p> <p>○課題解決のために、多面的に考えようとする児童が増えている。</p> <p>○高学年では、タブレット端末を活用して表現する力が向上している。</p> <p>●ある程度の成果はみられているが、自分の考えを整理し、根拠や理由を明確にしなが話したり、相手の話を正確に聞き取ったりすることに苦手な傾向があり、さらにコミュニケーションスキルを高めていく必要がある。</p>	<p>・自分の考えを整理し、根拠や理由を明確にしなが、自分の考えを話したり、伝えたりすることができる。</p> <p>・多様な意見を尊重しながら、相手の話を正確に聞き取ることができる。</p> <p>・高学年では、タブレット端末を使用し、プレゼンテーション力を向上することができる。</p>	<p>・「つだっこナビ」を国語や学級活動等の話し合いの場で、活用する。</p> <p>・朝の時間やすきま時間を利用して、継続的に国語の聞き取り問題に取り組む。</p> <p>・授業の意見交換や発表の場面中で効果的にタブレット端末を活用する。</p> <p>・話し合うときには、ノートやタブレット端末に自分の考えや根拠等を書き込む。</p> <p>・プレゼンテーション力を向上させるためのタブレット端末の活用の仕方を考え、実践していく。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○与えられた課題については、最後まで取り組むことができる児童や新しい課題に自らが進んで取り組もうとする児童が増えてきた。</p> <p>●自分で課題をみつけて解決方法をみつけるのは苦手な傾向がある。</p> <p>●学年が上がるにつれて、自尊心や自己有能感が低くなる傾向があり、学習意欲にも影響が見られる。</p> <p>●今までに学習したことを次の課題や生活に生かそうとする態度が育っていない児童がいる。</p>	<p>・めあてをもって学習に取り組む、自分なりの方法で課題解決できる力を身に付ける。</p> <p>・自ら課題を設定し、タブレット端末を有効に活用し、楽しく学ぶことができる。</p>	<p>・めあてを明確にした授業、児童の興味・関心や問題解決の必要性を踏まえた授業を展開する。</p> <p>・主体的な学習を進めるために教材の開発や、教師の発問等を工夫する。</p> <p>・視点を明確にし、目的や場面に応じて、タブレット端末を効果的に活用する。</p>			

令和4年度 学力向上ロードマップ



